



広 報

皆 既 日 食

No. 506

8

平成21年
(2009)

特集

皆既日食

郡体地元開催特集(男女バスケット・相撲他)
連載 フリムン徳さんアメリカ通信
第28回喜界町夏まつり
シマの話題(手工芸ふたり展開催他)
喜界歌壇・戸籍の窓
島に咲く花

表紙説明

どんなに言葉を並べても、じかに五感・第六感で感じる
以外に、皆既日食の素晴らしさを伝えるすべはない。
しかし、写真をみれば、あの感動が甦ってくる。

今世紀最大の天体ショー、喜界島のすべてに奇跡のおくりもの

観測者ら「やったー」「バンザイ」「すごい」次々に歓喜の声
朝からの厚い雲を貫き、全島民・観測者の祈りが天に届く！

陸地では国内唯一の観測

国内で46年ぶり、奄美では約500年ぶり（同日に観測された、同じ日食帯上の中国の古い記録による）となる。今世紀最大の天体ショー「皆既日食」が7月22日、島内全域で観測された。島内3ヶ所に設置されたテントサイト利用者などの観測者や帰省客約2千人が島を訪れ、喜界島民と共に世紀の天体ショーを見守った。当日は朝から不安定な天候であったが、国内の陸地では無人島や民間人の立ち入り禁止の島々からなる硫黄列島を除き、喜界島は唯一、皆既日食を観測できた。島内全域が観測可能地域であり、午前10時56分頃から2-3分の間、奇跡的に雲の切れ間から皆既日食が観測でき、幻想的なダイヤモンドリングが輝くと（第2接触）、観測者らは一斉に歓声をあげ、皆既状態の終了を知らせるダイヤモンドリングが再び輝くと（第3接触）、どよめきと共に拍手があちこちで起こった。観測者らは抱き合ったり握手をしながらか、口々に「すごい。感動した」「見れて良かったね」「もう少し晴れてくれたら良かったけど、他は見れなかったらしいからぜひたくは言えない」などと話し合っていた。

第1接触：太陽と月が、はじめて重なる時

第2接触：ダイヤモンドリングが出現。太陽が月に完全にかくれる時。この時から皆既状態

第3接触：ダイヤモンドリングが出現。太陽が月の背後から再び姿を現す時。皆既状態の終了

第4接触：太陽の全体が月の背後から姿を現した時

日食ドキュメント 〜日食前日まで

町役場では一昨年から皆既日食について講演会などを開催し、各学校でも絶好の教材と捉えて学習してきた。また、島外から多数の観測者が訪れることが予想されたことから、町観光協会や町役場を中心に皆既日食受入実行委員会を立ち上げ、日食に向けて準備してきた。



色とりどりのテントが並んだ

観測者必携!? 入島パスポート



受入実行委員会では、島外からの観測者向けに「入島パスポート」を発行した。このパスポートは、観測者心得のほか、島の方言や特産品、観光名所などが網羅されており、紙質やデザインまで本物に近づけた「こだわりの逸品」。

主に担当した同委員会の吉川文浩さんは「何でもやり始めると気の済むまでこだわる性分。色々工夫し、校正も十数回した。気分を盛り上げるため鹿児島でフェリーに乗る際に、入島手続のため提示が必要で、島内では買物先でスタンブラーでもできる。日食と喜界島のよい思い出になるのでは」と話した。

皆既日食を間近に控えた7月16日、いよいよスギラビーチ、塩道長浜公園、小野津グラウンドのテントサイトを利用する観測者らの第一陣が入島し、島のあちこちでその姿が目立ち「いよいよ日食」の雰囲気が高ただよい始めた。

フェリーから降り立ち、スギラビーチに到着した観測者らは「きれい。リゾート地みたい」「何も無いと思ったけどインフラが整備された島ですわね」などと、これから始まる数日間の喜界島の生活に胸をふくらませていた。

アマチュア天文家という倉金秀行さん（群馬）は「トカラや奄美大島は料金が高いので喜界島を選んだ。会社を共同経営する弟の冷やかな視線は気にせず、10年以上前から狙っていた皆既日食を見るために来た」、埼玉在住のイスラエル人、ムーサ・ラズさんとダド・

徒歩で島一周にチャレンジ

スギラビーチにキャンプを張った自治医科大学6年生の鈴木亮士さん(栃木)は、友人に会うため朝8時に塩道長浜公園へ徒歩で向かった。途中、休憩や気になる場所を探索しながら到着。帰りはバスを利用しようとも考えたが「せっかくなので島を一周しよう」と思い立ったという。

帰路も、阿伝の石垣や手久津久のガジュマル巨木に立ち寄りながら、スギラビーチに帰り着いたのは夕方5時。何と7時間の長旅であった。



医者タマゴ、鈴木さん

大学の先輩が町診療所に勤務していた関係で「喜界島のことは知っていた」という鈴木さんは「来年の卒業を控え、帰ったら都内の病院での研修が待っている。学生時代のいい思い出ができた」と満足した様子だった。

※地域(へき地)医療の充実を目的に旧自治省が設置した同大学は、都道府県の出資で運営される。

レビイさんらは「にぎやかなことが好きだが、自然も好き。都会では外国人を警戒するが、喜界島の人はお年寄りも子どもも気さくに話し掛けてくれる。リラックスできるネ」、日食のためオーストラリアから帰国したという大波淳志さんと新優幸恵さんは「ゆったり時が流れている。観測者が少なく、じっくり日食が楽しめる」と思い喜界島を選んだ」と話した。



中里の「まち歩き」で掩体壕などを見学

観光ボランティアガイドによる「まち歩き」などへ参加するなど、島を満喫していた。



異変に気づき脱走したニワトリ

また、皆既日食が近づくと、スズメやツバメが巣に帰ったり、ニワトリや犬が鳴き出すという現象があったという。

過去10年「7月22日は快晴」のデータをあざ笑うかのように、当日は朝から分厚い雲が空を覆った。午前9時30分過ぎ、徐々に薄くなっていく雲の切れ間から太陽が欠け始める。湾小5年の柳美羽さんは「太陽がカジられた」と驚く。その後、消えたり現れたりを繰り返すが、薄い雲は覆ったまま。徐々に皆既日食が近づくと、商店街や役場への客足がぱったりと止まった。

日食ドキュメント

7月22日

日食中の地球と島の様子を気球で撮影

神奈川県在住の橋本勝洋さんから「日食ハンター」5人が皆既日食当日、上空から日食時の月の影などを撮影しようとカメラを取り付けた気球を放った。

トルコや中国でも皆既日食を観測したという橋本さんは「日食ハンターというより日食ストーカー」と自分を表現。他のメンバーともトルコで知り合ったという。

今回撮影に使用した気球は、ほとんどが橋本さんの手作り。発泡スチロール箱にカメラを入れ、直径1メートルの気球につなげた。高度30kmの成層圏まで上昇したのち落下する設計で、回収するために位置を特定できるGPSも取り付けられた。

太陽が欠け始めた午前9時30分過ぎ、小野津小学校の校庭から同校児童らが見守るなか気球を放った。その後、児童らに今回の目的や意義を説明した。空に消えるまで気球を見上げていた宮里優花さん(同小1年)は「すごい速さで上がっていった。今度はあの気球に乗ってみたいです」と話した。

肝心の回収は、季節外れの強風と時化により難航を極め、翌日まで搜索したものの、GPSの電池切れもあり泣く泣く断念した。

橋本さんは「残念な結果だが、子どもたちに手作りの装置でもこのような調査ができることを伝えられた。これをきっかけに宇宙を身近に感じ、夢を持ってもらえれば」と話し「今回の反省を踏まえ、来年7月のイースター島(チリ)の皆既日食で再チャレンジしたい」と意気込んだ。

なお、今回の挑戦はNHKが同行取材し、テレビでも放映される。番組名と放送時間は別掲の通り。

番組名 熱中時間~忙中“趣味”あり~
放送時間 8月26日 NHK 総合(15分)
午後10時45分~
9月5日 BS-2(45分)
午後6時~
(衆議院選挙特番により変更あり)



その時が来た。午前10時56分過ぎ、相変わらず雲がたれ込めたまま。しかし、太陽の周囲は雲が途切れた。また、非常に珍しい太陽を囲む円形の虹も見られた。観測者らは「もうだよ」「始まるぞ」などと声をかけ合い、自然にカウントダウンの声がわき上がった。気が付けば水平線は夕焼けのように赤く染まり、少し涼しくなった、糸のようになつていた太陽が失われた途端、まばゆいばかりの何とも表現のできないダイヤモンドリングの閃光が、すべての人々を貫いた。あちらこちらで言葉にならない歓声が聞こえる。



神々しい皆既日食

皆既日食の間、曇天のせいか夜のように真っ暗にはならなかったが、「きれいな・・・」というため息が聞こえたのみで全員が言葉

を忘れ、その3分余り、灰色の闇と静寂が周囲を包んだ。

再びダイヤモンドリングが輝き、夢のような、永遠のようなその時が過ぎ去った後、観測者らは拍手をし、抱き合い、握手やハイタッチをして感動を分かち合っていた。

皆既日食の終了を待っていたかのように厚い雲が再び空を覆い始め、その後の部分日食の観測はかなわなかった。午後3時頃からは土砂降りの雨が降り注いだ。

日食ドキュメント 〜日食その後

日食当日、それぞれが夜遅くまで余韻に浸る一方、さっそく家路を急ぐ観測者も。居残り組は相変わらず



島のおみやげを買い求める観測者ら



「また合おう」と手を振り続けた

観光や魚釣りなどで島をエンジンジョイしていた。

各テントサイトのテントも徐々に数を減らし、24日夜からは、すべてのテントがスギラビーチに集約された。

空港や港では、日常生活へと戻る帰省客や観測者らが、島で知り合った仲間や親戚、友人知人らと抱き合い、記念撮影する姿が毎日のように見られた。

最後まで残っていた観測者らが島を離れた28日、ひとまず、喜界島の皆既日食“が”終わった。



そして誰もいなくなったテントサイト。そこだけ色あせた芝生はどこかさびしそう

地域パワーが炸裂!!

文化協会、各地域で日食歓迎イベント

日食の観測者らを歓迎しようと7月19日から22日まで毎夜、町文化協会、早町地区、荒木、小野津で盛大にイベントが開催され、観測者らは島唄などのステーションを十分に満喫した。塩道長浜公園(早町地区)では、早町地区皆既日食連絡協議会の里村忠弘会長が「若い衆の頑張りで盛り上がった。接待や連絡調整で大忙しです」と、うれしい悲鳴をあげていた。



テントサイトの“住民”も参加して熱狂の六調大会(早町地区)



町民のハートに火を付けた! ファイヤードンス『ボンベイロ』各会場を席卷(スギラ、文化協会)



“小野津が生んだ異端児”西徹彰ライブで盛り上がった(小野津)



「ウチの青年にこんなパワーがあったとは」集落の長老も絶賛(荒木)

ボクもわたしも 見ました! 感じました! 皆既日食!!

奇跡的に観測できた皆既日食。祈るように、あるいは無心に、それぞれが色々な思いを胸に、その目に焼きつけたことでしょう。

ここで、町民・観測者らの皆既日食の感想を紹介します。

インタビュー内容
①どちらから来ましたか?
(町民は集落名)
②どこで見ましたか?
③ダイヤモンドリングは何色に見えましたか?
④皆既日食あるいは喜界島の感想は?

玉利健太郎くん(湾小5年)
①湾 ②島中のバアチャンの家
③赤っぽかった ④あんな現象が起きてビックリした。26年後は37歳なので、仕事を頑張ってまた見たい



真っ黒に日焼けしたGさん

Gさん(匿名希望・男性)

①千葉県 ②自転車で百之台展望台へ向かう途中 ③金色から紫に変わった ④自分の中の宇宙を感じ、宇宙との一体感も実感した。喜界島の方々は親切なので落ち着く。前世に島へ来たのかも

中島準さん

①高知県 ②スギラビーチのキャンプサイトで家族と
③クリーム色 ④日食をきっかけに喜界島に来られてよかった。緑の中に家々があつて素晴らしい

瀬戸口昭さん

①神奈川県 ②小野津グラウンド
③写真を撮ることに迫われ

て覚えてない ④涼しくなった。コロナやプロミネンスもバッチリ撮れた。喜界島に感謝です

浜田朋美さん

①鹿児島市(南日本新聞記者)
②小野津グラウンド ③ピンク
④シャッターを切りながら感動で涙が出ていた。人が温かく取材にも協力的で喜界島の大ファンになりました

HRさん(匿名希望・女性)

①中里 ②自宅の庭で孫と
③白 ④もう少し晴れたらよかったです。他の島を考えるとぜひいたくは言えない。26年後は何歳か分からないが、ぜひ見たい

村瀬昌次さん

①京都府 ②島を自転車で一周中に。集落名はわからない
③赤 ④他の島と比べて料金設定が良心的で、山が少なく晴れやすいと思ひ喜界島を選んだ。お陰で写真もバッチリ撮れた

羽佐田紀子さん

①花良治 ②阿伝小で児童らと
③不明 ④神さまの偉大な業と人間の小ささ、一瞬一瞬変わっていく天体に心が熱くなった。素晴らしい一日を人生に刻むことができました

古賀智己・井上知香さん



喜界島の大ファンになった古賀さん(左)と井上さん(右)

①福岡県 ②スギラビーチ
③青 ④ひとつの時代が終わ

り、新しい時代の扉が開いた節目の日食と感じた。島の人は温かく、実行委員会も意識が高く、雷雨と強風で休養村に避難したときの対応も良かった。島ではいやな思ひは全くしなかった。イベント等も充実していて文化にも触れることができた

水田夏洋さん

①神奈川県 ②自転車で島一周中にトンビ崎で ③白
④喜界という名前にひかれて来ました。自分の目で見れたことに感動です。島民の方にありがとうと言いたいです

藤原龍太郎くん(早小6年)

①塩道 ②早町小の校庭
③白↓青 ④すごかった。セミが鳴きやんでビックリ。26年後も絶対に見たい

生方由美さん

①大阪府 ②トンビ崎
③ピンク? オレンジ?
④4年前にも観光で来た。言葉にできない感動。日食ハンターの気持ちが理解できた。ぜひ26年後の茨城でも。喜界島に感謝です

島美人さん(匿名希望・女性)

①早町 ②東京の友人らとトンビ崎で ③ピンク ④特にダイヤモンドリングに感動し、周りにできた虹もよかった。喜界島に生まれ

片側仁奈さん

①愛媛県 ②小野津グラウンド
③ルビーの輝き ④感動のひとつ。喜界島が呼んでくれた。島民の方はやさしくてカベを感じなかった

小阪聡美さん

①東京都 ②塩道長浜公園
③白かピンク? ④皆既日食はこの世のものと思えない美しさ。あちこちを観光し、島の人たちには親切にしてみました



右が小阪さん(鳥の山公園で)



皆既状態の始まりを告げる第2接触。右下にダイヤモンドが輝く。



溶接用遮光ガラスで手製のメガネ



皆既日食でも日焼け対策



皆既直前!!

見上げてごらん 皆既日食を・・・

島のあちこちで空を見上げる人々の姿がみられた



カメラの設定はOK?



百之台も絶好の観測スポット



ワンコも観測



児童らは各学校で観測 (湾小)



志戸桶海水浴場はカメラ上級者が集結

郡体地元 開催特集

第63回県民体育大会第50回大島地区大会（通称、郡体） 喜界総合6位 バasketボール、相撲競技が本町で開催

喜界チーム健闘、ゲートボール、ソフトテニス（男子）も優勝

第63回県民体育大会第50回大島地区大会は7月11―12日、奄美群島内12市町村で全21競技が行われ、喜界町は総合順位で6位（188点）だった（総合優勝は301点で龍郷町）。

地元開催の相撲競技は、一般1部で念願の初優勝。一般2部と青年の部が3位、個人戦でも一般2部で栄雄太選手が3位に食い込んだ。

同じく地元開催のバスケットボールは、男女とも善戦したものの、あと一歩及ばず男子5位、女子3位であった。

また、他会場では、ゲートボールが予選リーグの知名戦でつまずいたものの、態勢を立て直して勝ち進み、決勝戦で天城を17―9で下して優勝に輝いた。

ソフトテニス男子も、予選リーグで龍郷、知名に順当勝ち、準決勝の宇検に3―1で勝利し、決勝戦では見事3―2で奄美にリベンジを果たし、優勝を飾った。一方、同女子も決勝戦まで進出したものの、奄美に敗れ準優勝。惜しくも男女アベック優勝とはならなかった。

他競技では、陸上で高校男子走幅跳の富裕太郎選手、高校女子800mの西野亜紀選手、高校女子砲丸投の松村清来選手らが1位となり、剣道の個人戦では西森真哉選手が優勝した。

相撲（一般1部）喜界が初V!!

久保博樹、殊勲の白星連発！相撲会場に町民のどよめきと歓声が響く

バスケットボール男女



相手を振り切る園田未樹子選手（14番）



相手守備を切り裂いてシュートする生田博信選手（右、15番）



激しくぶつかり合いながらのシュート、山田貴史選手（手前、緑）



振り向きざまのシュート、上間笑菜選手（13番）

バスケットリング下での攻防（緑が喜界）



相 撲



激痛が走る右手首をかばいながらも、実力の違いを見せつけ勝利を重ねた倉橋選手（左）



一般1部、優勝メンバーの先鋒・倉橋憲司選手、中堅・久郁弥選手、大将・久保博樹選手（写真左より）

勝利者インタビュー
先鋒・倉橋憲司選手
 手首の痛み（腱鞘炎）は言い訳にならないので開き直ってぶつかかった。個人戦は症状がこれ以上悪化してはいけなかったので辞退した。期待に応えられず申し訳なく思う。

中堅・久郁弥選手
 初戦を落として自分の型を作れなかった。昨年調子が良かっただけに研究されたのかも。先輩2人のお陰で優勝できた。来年は精進して巻き返したい。

大将・久保博樹選手
 昨年、あと一步の所で優勝を逃しただけに、一ヶ月前から大会のことばかり考えていたがプレッシャーは前日まで。全戦、一勝一敗のシビれる場面が出番が来たが、負ける気はしなかった。技とスピードでは負けても、パワーと気合いでは負けない。監督に引つ張られて努力した甲斐があった。



優勝のかかった一番を制し、勝利の雄叫びをあげる久保選手（左）



ウォーミングアップに余念がない、一般1部出場選手では最小兵の久選手（左）

一般2部で3位入賞の栄雄太選手

昨年まで一度も勝てなかった相手を破って3位。相撲を教える子どもたちに取組前に激励してもらい大きな力になった。子どもたちの目の前で勝利をプレゼントできたことが何よりうれしい。（栄選手・談）



（次ページも郡体地元特集）

柳選手は「正月から相撲の稽古に取り組んできた。郡の一般2部のレベルも上がっており、喜界相撲の底上げの意味でも相撲を選んだ」と話した。

巨漢力士とばかり対戦した廣選手



野球の郡体代表「山川クラブ」の廣清太監督以下、柳常博選手、栄雄太選手らは激戦を制して勝ち取った野球の代表ではなく、相撲を選んだ。事実、相撲一般2部で3位入賞したメンバーはこの3人からなる「オール山川」である。

野球より相撲を選んだ柳常博選手



祝勝会では外内千里相撲連盟会長の乾杯で勝利の美酒に酔った



相撲連盟全員で勝ち取った「一般1部優勝」だ

他会場の競技結果

男子バレーボール	7位
女子バレーボール	5位
男子バドミントン	5位
女子バドミントン	7位
男子ソフトテニス	優勝
女子ソフトテニス	2位
剣道団体	5位
弓道	2位
サッカー	5位
軟式野球	2位
男子ソフトボール	5位
ゲートボール	優勝
グラウンドゴルフ	10位
ゴルフ	6位
陸上	松本望 3位 (50歳代男子二千m)、福島風 4位 (共通男子百十mハードル)、重野修平 5位 (高校男子四百m)、豊田純司 5位 (30代男子百m)、都伸也 2位 (30歳未満男子百m)、富裕太郎 5位 (高校男子百m)、岩崎雄 4位 (高校男子千五百m)、喜界町共通男子 2位 (4×百mリレー)、富裕太郎 1位 (高校男子走幅跳)、豊島昌也 2位 (高校男子砲丸投)、岡晃久 4位 (50歳代男子砲丸投)、積山寿久 5位 (30歳未満走幅跳)、大高佳男 4位 (40歳代男子砲丸投)、松村清来 3位 (高校女子百m)、三田美志保 5位 (同)、西野亜紀 1位 (高校女子八百m)、園田樹子 4位 (同)、喜界町共通女子 2位 (4×百mリレー)、松村清来 1位 (高校女子砲丸投)、住岡尚美 3位 (高校女子走幅跳)、上島仁美 2位 (一般女子走幅跳)、上島仁美 3位 (一般女子ソフトボール投)

富岡四一監督に聞く

今年は新年早々から練習に取り組み、6月には合宿も行った。すべきことをし、準備万端で大会を迎えられたので対戦相手がどうかではなく、一人ひとりが地元開催のプレッシャーに負けずに頑張れたのでは。とにかく全員がチームワークを発揮して頑張った。

剣道個人戦では、西森真哉選手(第一中教諭)が優勝した。西森選手は出場選手中、唯一の二刀流。シマの宮本武蔵(二天一流(二刀流)の祖)である。ただ、西森選手は左手に大太刀、右手に小太刀で構える「逆二刀」だ。二刀流ということでは、



「シマの宮本武蔵」 剣道個人戦優勝！ 西森真哉選手

・大学と剣の道一筋に打ち込んできた。普段は竹刀をチョークに持ち替え、数学教師として教壇に立つ。
また、男子テニス部の顧問も務め「剣道で培ったものを子どもたちに伝えたい」と目を輝かせる。

会場の注目を一身に浴びた西森選手は「相手の『出頭』(攻撃しようとする瞬間にできるスキ、『後の先』を狙おうと心掛けたことが結果につながった」と振り返った。
指宿市出身で小中高



優勝した男子ソフトテニス (写真は上田・巖ペア、吉川幸治さん提供)

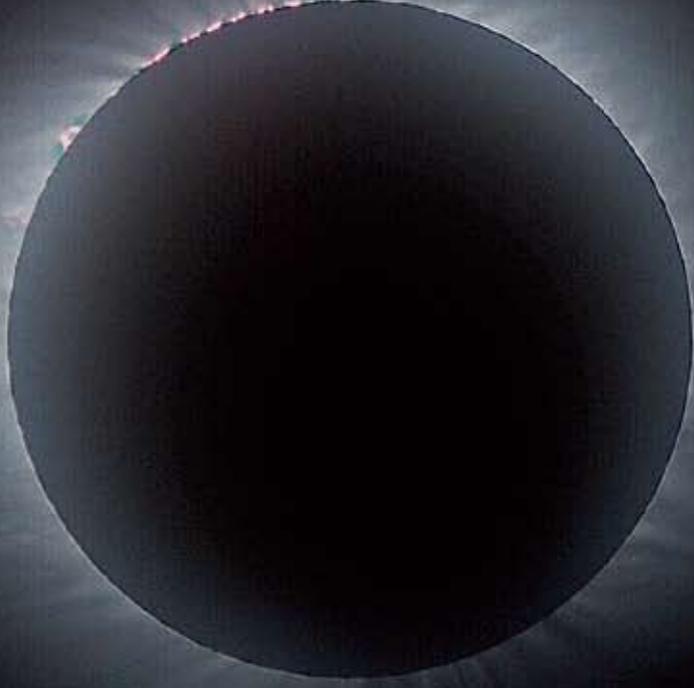


奮闘した高校男子陸上チーム



教育委員会に優勝を報告するゲートボールメンバー

ゲートボールチーム優勝！



皆既日食。白い霧のようなコロナと赤くふち取るベイリー・ビーズ、さらにはプロミネンスの火柱も確認できる（撮影：林 航大さん）



皆既状態に別れを告げる第3接触。右上にダイヤモンドが輝く (撮影：峰山恵喜光さん)

「広報きかい」版
フリムン徳さんの
アメリカ便り
Vol.6



「アーチーズ」

祝祭日連休の5月22日から25日まで、ロスアンジェルスに住む井手尾さん(フリムン徳さん応援団、キャンプの達人)、リトル東京の有名デザイナーの上田さんの3人で、キャンプをしながらユタ州のアーチーズ国立公園に行った。

私はアーチーズの奇岩を見て、地球の芸術家としての才能に感銘した。

果てしなく広がる赤茶けた地肌にそびえ立つ赤茶けた岩山の群れは、ガリバーのような巨人達が立っているようにも思えた。奇岩の山々が連なる様子は、まるでエンパイアステートビルや東京都庁ビルといった摩天楼のようだ。

そんな奇岩や巨岩が木のように生えており、まさに森林である。そして奇岩の群れや山々を、グランドキャニオンのように上から見下ろすのではなく、下から見上げるのである。巨人のガリバーになって見下ろすのではなく、小人の一寸法師になって見上げるのである。ただひたすら感動する。

高くそびえ立った巨人岩の細い首に乗った大きな岩が、今にも落ちそうで落ちない。どうして落ちないのかマジックみたいである。見てる方はひやひやしてしまう。それは皿回し芸のようでもある。その岩には「バランスドゥ・ラック」(バランスをとっている岩)と名前がついている。他には軍艦型の奇岩もあり、それは実際の軍艦の何百倍、何千倍の大きさである。

次に虹のアーチのような大きな奇岩が目飛び込んでくる。何億年の間に風雨に削り取られ、丸い穴があいている。その直径が60メートルもある岩もある。

延々と続くこの地球の地肌、いったい車で何時間走っただろうか。奇岩の世界を繰り広げる地球の不思議に驚くばかり。地球上でこんな奇岩の景色はどこにもないという。

アーチーズの景色を見てると、どうしても、緑のヨセミテ公園や、地元ブラッドレーの緑の牧場が目に見え比べてしまう。元大工の私の結論は、緑のヨセミテ公園や緑の牧場は洋服を着た地球であり、赤茶けた岩だらけのアーチーズは産まれたままの裸の地球のよう

ある。

アーチーズの岩を見ていると神秘的で、他の惑星のUFOが降りてくるようで、地球の不思議さと、そして、心に勇気、強さも感じる。緑のヨセミテを見ていると地球のことは考えないで、木のこと、緑の美しさ、癒されることを感じる。岩と木はどうしてこうも人間の感じ方を変えるのだろうか。

名案が浮かんだ。もし私がもう一度生まれ変わるなら、緑のヨセミテで結婚式を挙げ、地球の誕生時と変わらない赤茶けた岩肌のアーチーズで葬式をしてもらおう。

そして、子供が出来たら強い子供に育てる為に、育ち盛りのうちはアーチーズに連れて行き荒々しい岩と触れさせ、少し大きくなりシシー坊になったら、緑のヨセミテへ連れて行き緑の美しさ、優しさに触れさせよう。

こんなアーチーズの地球むき出しの景色は、もの書きの駆け出しに過ぎないフリムン徳さんには文章にできない。「こういう景色はカメラか、絵描きさんの仕事のようだ」。もの書きの恩師、TVファン誌の社長竹内様にこんなことを言ったら叱られた。「景色でもなんでもいい、文章にするのがお前の仕事だ」。でも、駆け出しの私に、景色を文章化するのには難しい。

不思議なもので、素晴らしい、感動した景色ほど、文章にしたい衝動に駆られる。人に写真を見せる時、どう説明したらいいか考えるからだろうか。

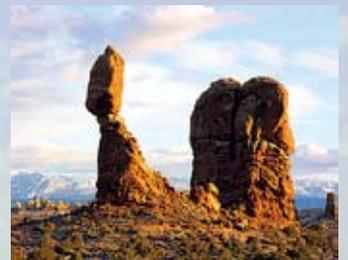
30数年前、南米のパラグアイへ移民した時だった。首都アッシュンションから、移住地「ハポネスコロニア・イグアス」へ小さな飛行機で飛んだ。眼下にあのアマゾンが広がっていた。思わず、隣の席の嫁はん「綺麗なところへ移民してきたねえ」と叫んでしまった。

見渡す限りの緑の森の中を、大蛇のように曲がりくねる流れを抱く偉大なるアマゾン。

その流れは場所により白味噌の色、赤味噌の色で、澄まし汁の色ではない。写真に撮るより文章にしてみたかった。日本の友人に、空から見たアマゾンの素晴らしさを手紙で伝えたかったが、難しくてとうとう書けず仕舞いであった。

他にもグランドキャニオン、ブライスカニオン、デスバレーなどにも行ったが、やはり私はこのアーチーズがどこよりも心に残ったのだ。

(アーチーズ=アメリカ、ユタ州の国立公園。東京ドーム6千5百個分の広さに、様々な巨岩・奇岩が広がる。年間の訪問者は70~80万人)



アーチーズ「バランスドゥ・ラック」
フリー百科事典『ウィキペディア』より転載

皆既日食の興奮も冷めやらぬ「喜界で一番暑い夏」

第28回 喜界町夏まつり 盛大に開催

ファイナーレは大花火大会

約二千発の”盛夏の天体ショー”

第27回喜界町夏まつり（喜界町夏まつり協賛会主催・加藤啓雄会長）が7月25日と8月1〜2日、湾赤連商店街や湾港、空港臨海公園などで開催された。皆既日食の興奮が冷めぬ7月25日、島に残る観測者らにも夏まつりを味わってもらおうと商工会青年部は、主催する歩行者天国を前倒しして開催。商店街には多数の露店が出展し、特設ステージでは島唄ほかの演目で多数の見物客を魅了した。8月1日は町相撲場で相撲大会があり、小学生や成年が出場。連発する好取組、珍取組に観衆の声援がこえました。翌2日午前は子ども会によるミニコシパレードと湾方・赤連方に分かれての大綱引き大会が湾赤連商店街であった。正午からは夏まつり名物”フネインカー競漕”があり、皆既日食とは打って変わった猛暑の中、51チームが熱闘を繰り広げた。夕方からはスグラビーチで演芸の部があり、婦人会パレードや佐手久集落による八月踊りで幕を開け、ステージでは日本舞踊や奄美民謡大賞受賞者、川畑さおりさんの島唄などで観衆の目と耳を楽しませた。ファイナーレの大花火大会は、皆既日食に負けじと1996発にも及ぶ大小の花火が真夏の夜空に、世紀の“ならぬ”盛夏の“天体ショー”を演出した。

7月25日 歩行者天国



新曲「たんかんのうた」を披露した長島稔さん



今年も多くの人でにぎわった



8月1日 相撲大会



選手宣誓を務めた南博貴くん(志戸桶小6年)



さあ、投げの打ち合いだ！



小よく大を制するか？



「やったー勝ったー！」



土俵際の魔術師“綱渡り”で抵抗(足元に注目！)



大綱引きは2対1で湾方の勝利！



趣向をこらした色々なミコシが練り歩いた



8月2日
ミコシパレード・大綱引き



女子の部優勝は一般女子バレーボール！



各部門で接戦が続いた（固定舵の部）



“若さ”あふれる選手宣誓！

フネインカー競漕



手舵の部は自衛隊のワンツーフイニッシュ！
なんと固定舵の部でも自衛隊が優勝！



“台風”の目となった上東壮年団A（奥、赤艇）



同僚らの激励を受けて出陣（喜禰運送店チーム）



“盛夏の天体ショー”でフィナーレ！



最高峰・奄美民謡大賞を受賞した
「シマの唄姫」川畑さおりさん



オープニングを飾る婦人会踊りパレード

演芸の部



安田宝英さん、円熟の島唄を披露

第5回
喜界町子ども議会
行われる

7月24日(金)に第5回喜界町子ども議会が町議会議場で行われました。

本年度の共通テーマ「毎月第3日曜日にある『ふるさと美化活動』に、喜界町の児童・生徒全員が参加するにはどうすればよいか」について、各学校で話し合いを進め、その結果を代表者が発表しました。まず、昨年度の「ふるさと美化活動」や学校独自の取組状況についての報告をしました。「ふるさと美化活動」の参加率は、各学校によって差があることが分かりました。参加できなかった理由としては、「知らなかった」「朝起きることができなかった」「部活動等で行けなかった」等が挙げられました。次に、共通テーマについて、話し合いました。話し合いでは、「ポスターを作って呼びかけよう」「スタンプカードを作って、参加したらスタンプを押してもらおう」「高学年が低学年の模範になろう」「レクリエーションまでしよう」等、

特色のある意見が出されました。これらの意見の中から「スタンプカードを作って、参加したらスタンプを押してもらおう」を共通実践事項に決定しました。

議長を務めた第二中学校の前島智美さんは、「各学校の取組や考えを聞き、みんな喜界島をきれいにしたいという気持ちで伝わってきた。スタンプカードの取組は、喜界島全ての学校で取り組むことができるよいアイデアなので、どの学校も全員で取り組んで、美しい喜界島にしたい。」と話しました。

議長 前島 智美(第二中)
副議長 英 碧仁(第一中)
書記 米盛 幸汰(早町中)
発表者

湾 小	賀 ももか
上嘉鉄小	廣 美奈代
坂嶺小	森 こはる
荒木小	善原 亜梨沙
滝川小	服部 彩
早町小	西村 賢太
志戸桶小	勝 多香子
小野津小	河田 夏歩
阿伝小	竹下 日菜
第一中	高野 海夕
第二中	梅 龍舞
早町中	辻 奄美



各学校の代表者

スポーツや交流会で
親睦を深める!

第36回大島地区スポーツ
少年団競技別交歓大会

7月25日・26日の両日、奄美市で標記交歓大会が開催されました。

本町からは、6競技8種目に93名の指導者・選手団が参加し、奄美の頂点を目指して熱戦を繰り広げました。

試合後はそれぞれの会場で交流会(ゲーム等)が行われ、地区内の少年団と交流を深めました。

【試合結果】

○ソフトボール競技

志戸桶SP：Aパート2位



指揮官のアドバイスを熱心に聞き、士気を高める
湾サッカーSP(左)と小野津SP(右)



- サッカー競技
湾サッカーSP
..... Bブロック3位
- 卓球競技(男子の部)
阿伝校区SP：..... 第2位
- 卓球競技(女子の部)
上嘉鉄SP：..... 第2位
- 卓球競技(個人戦女子5・6年)
廣 知子(上)：..... 優勝
- 卓球競技(個人戦男子5・6年)
春日駿介(阿)：..... 第2位

偏見や差別のない明るい
社会を築こう!

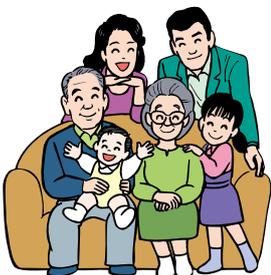
人権同和問題啓発
強調月間

8月は人権同和問題啓発強調月間です。県では、この期間中にテレビ、ラジオスポーツによる啓発放送や新聞広告、人権フェスタ2009の開催など、様々な人権啓発活動を集中的に実施することにしておりです。

私たちの社会には、同和問題をはじめ、子どもや高齢者の虐待、女性、障害者等に関する人権問題が依然存在しております。

これらの人権問題を解決するためには、県民一人ひとりがお互いの人権を尊重し、偏見や差別のない社会の実現に向けて努力を重ねていくことが大切です。

この機会に、皆さんも身近なことから人権について考えてみましょう。





毎日暑い日が続いています。睡眠不足や食欲低下で、体の抵抗力も落ちていきますので、食中毒予防にも、まだまだ注意が必要です。

食中毒予防の3原則は、

- 菌をつけない
- 菌を増やさない
- 菌をやっつける

- ① 肉・魚・野菜などの生鮮食品は新鮮な物を購入し、消費期限のある物は必ず確認しましょう
- ② 冷凍や冷蔵などの温度管理が必要な物は、持ち帰ったらすぐ保存しましょう。ただし詰めにすぎには注意してください。(7割程度に)
- ③ 冷蔵庫は10℃以下が目安です。細菌が死ぬわけではないので、早めに使い切るようにしましょう。
- ④ 調理前にはよく手洗いし、生の肉や魚・卵を扱ったまな板、包丁は十分に消毒しましょう
- ⑤ 加熱して調理する食品は、十分に火を通しましょう。
- ⑥ 出来上がった料理は、早めに食べましょう

- ⑦ 食卓につく前は、必ず手洗いをしましょう
- ⑧ 時間の経ったものは、口にするのはやめましょう。

熱中症も予防が大切です

熱中症は、高温の環境の中で体内の水分や塩分(ナトリウム)のバランスが崩れたり、体内の調整機能がうまくいかなくなつて発症します。

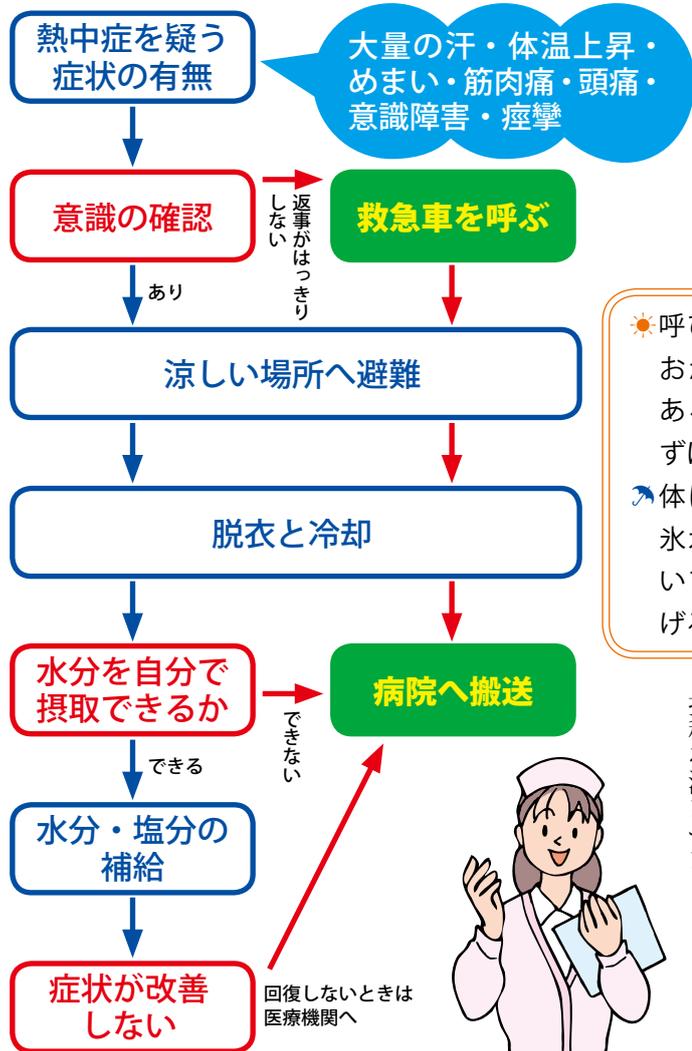
死にいたる可能性もあります。予防法や、応急処置を知っていれば防ぐことができます。

8月の中旬が発生のピークです。蒸し暑くて風が弱く、照り返しが強い日はとくに注意が必要です。

熱中症が疑われるときは

- ① 涼しい場所や、クーラーが効いている場所へ移動
- ② 服を脱がせ、皮膚に水をかけ、うちわや扇風機などで扇ぐことで体を冷やす。
- ③ 氷があれば、タオルなどに包んで、首・脇の下・足の付け根の大きな血管を冷やす
- ④ 意識がはっきりしていいたら、冷たいスポーツドリンクや食

熱中症の疑いがあるとき何をすべきか



熱中症予防

- ☀ 屋外では帽子を
- ☀ 水分をこまめに摂取たくさん汗をかいたらスポーツドリンクや、1リットルのペットボトルに1~2gの食塩を溶かした水を飲む
- ☀ 日陰を利用する

塩水(1リットルに1~2gの食塩を溶かす)を飲ませる。

高齢者は、体温調節機能が低下しています。下しています。「暑い」と感じにくい・汗の量が少なくなる・のどの渇きを感じにくい

高齢者の注意点

- のどが渇かなくても、定期的に水分補給を

- ☀ 呼びかけに対する反応がおかしいとき、吐き気があるときは水分は飲ませずに、すぐ病院へ。
- ☀ 体にかける水は、冷たい氷水より普通の水で。扇いで蒸発させ、体温を下げる。

幼稚園年長組、中学校1年生、高校3年生の皆さん、MRの予防接種は接種されましたか。夏休みを利用して予防接種を済ませましょう。三種混合の接種率も悪いようです。三種混合を接種する前に百日咳にかかって、入院する子供さんが全国的にも増えてきているようです。予防が何より大切です。予防接種の通知が届いたら、早めに接種を済ませましょう。

ワクチンって 麻しん・風しん撲滅



シマの話題



ま

たまた快挙！豊島さん最優秀賞

～九州商工会女性部交流研修会活動事例発表会

次の舞台は全国大会（盛岡）

九州ブロック商工会女性部交流研修会の交流研修会が7月7日、鹿児島市内のホテルで開催され、活動発表部門で喜界町商工会女性部長の豊島代子さん（湾）が最優秀賞に輝いた。

豊島さんは鹿児島県代表として、九州各県から集まった1300人を前に、皆既日食に向けて女性らしい細やかな気配りとアイデア（外部講師による講演会企画、児童へ日食メガネを配布する教委への取組、観光ボランティアガイド育成、日食パスポート作成）を活かした商工会女性部としての取り組みを発表。日食後に観測者から「さようなら喜界島」ではなく「また会おう喜界島」といってもらえるような活動を心掛けていることを強調した。



観光ボランティアとして観測者に島唄を披露

豊島さんは「島をPRしたい一心で頑張った。『喜界島と聞いて「どこにある島？」と思う方もいらっしゃるかと思います・・・』と声を出した瞬間に、観衆の視線が集まるのを感じたが緊張はしなかった」と話し「9月の全国大会では日食後の成果もあわせて発表し、愛する喜界島を一層PRしてきます」と決意した。



商工会の仲間たちと記念撮影(左から4人目)

内

野さん、大島さんが「手工芸ふたり展」を開催

皆既日食に合わせて観測者にも披露

埼玉県在住の内野美智子さん（早町出身）と小野津在住の大島順子さんは7月22日から3日間、中央公民館で「喜界島でふたり展」と銘打ち、手工芸などの展示会を行った。

今回は、2人がこれまで取り組んできた染め物や手工芸品を中心に、内野さんの東京での師匠や仲間ら3人の作品も併せて展示。島ではめったにお目にかかれない精巧な「芸術品」に、約450人の来場者は目を楽しませた。

内村さんは昨年12月にあった創作紙人形群像出展において、東京都知事賞（最優秀賞）を受賞するほどの上級者。「常々、島で展示会をしたいと思っ



都知事賞受賞作とともに（内野さん）



来場者に熱心に説明する大島さん（右端）

た。今回は日食ということ以外の方にも見ていただきかけた」と話し「島には染色用の植物・色が無限にある。興味のない方も染め物や手芸などにチャレンジしては」と付け加えた。大島さんは「若い頃に手芸と出会ったが、事情により断念。還暦で島に戻ったときに、島の友人達に勇気をもらって再チャレンジした。島の子どもたちに見てもらい、何事にもチャレンジする勇気を伝えたい」と話し、3年がかりの構想と準備を経て開催に漕ぎ着けた展示会について「皆さんが喜んでくださったことで、これまでの苦勞が報われた」と笑った。

皆

既日食を前にアハ退治

皆既日食と夏本番を前に、遊泳者の増加が見込まれるスギラビーチでは、背びれのトゲに強力な毒を持つアハ（オニオコゼ類）の駆除が行われた。

今回駆除をしたのは、中里に住む植村満さんから5人。

5人は子どもたちが遊泳する浅瀬から、沖へと続く入り江口付近まで約2時間に渡りアハを「搜索」し、ゴミも回収した。

植村さんは「オニオコゼは死亡例もあるほど危険な魚。観測者や子どもたちが安全に遊泳できれば」と話した。

オニオコゼ類はその外見に反して非常に美味で、高級料亭にも供される。駆除されたオニオコゼたちはその夜、植村さんらにより、きちんと成仏できたという。



左はオニオコゼ、中と右はオニダルマオコゼ

8月30日(日)は 衆議院議員選挙の投票日です。

投票時間：午前7時～午後6時まで

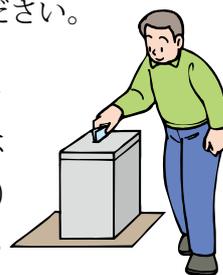
○投票所入場券の配布について

・投票所入場券は投票日の前日までに郵送します。届かない方は選挙管理委員会（☎65-1111内線19）まで、ご連絡ください。また、投票日までに入場券を紛失された方は、投票所でその旨を申し出ると投票ができますので、棄権されないようにしてください。

○今年度転入された方

・平成21年5月17日以前からの居住者は喜界町で投票できます。5月18日以降に転入された方は、前の住所地に選挙権がありますので、前の住所地へ不在者投票の用紙等を請求して下さい。（請求用紙は喜界町選挙管理委員会にもあります。）

○期日前投票及び不在者投票は「公示日の翌日～投票日の前日」までできます。



期日前投票

日時：8月19日(水)～8月29日(土)
時間：午前8時30分から午後8時まで
場所：役場トレーニング室

不在者投票

日時：8月19日(水)～8月29日(土)
時間：午前8時30分から午後8時まで
場所：喜界町選挙管理委員会(役場2階)

喜界町商工会 プレミアム商品券

8月10日(月)
午前9時から
販売開始!!



販売場所 喜界町商工会（旧農水省水利事業所）

販売価格 1冊10,000円 ※1冊につき11,000円分
(1,000円券×11枚)の商品券、1人5冊まで購入可能

発行冊数 2,000冊(2,200万円分)

取扱店舗 商品券取扱店舗として登録した事業所(店頭に掲示)

商品券の使用可能期間…平成21年8月10日～11月30日まで



詳しくは喜界町商工会まで! TEL 65-0169

喜界歌壇

あらあらと昨夜を吹きにし風風
ぎて落葉たまりの小径を曲がる

林 蓮香

池土手に佇てば静もる水面を音
たて鴨の親子飛び立つ

有村 道子

農終えて大地に祈るミレーの絵
われに敬虔な光をともし

平尾 チヨ

菜の花の散るをばあばあの涙と
う孫の言葉は天の賜物

美代 イシ

少年は語気あらけれど稚児にそ
そぐ瞳の優し動きす

郡 市子

家ごとの島蜜柑実を付け野鳥ら
の声溢れ出す山里の村

弥島 幸子

摘みとりしゆうなの蕾手に持ち
ておはじき遊びせし遠き日々

武田 幸子

還らざる汝を偲びて佇つ浜に特
攻花のつぼみ揺れおり

嶺倉 祝子

戸籍の窓

こんにちは

赤ちゃん

氏名 保護者 住所

重野友梨奈 泰浩 赤連

杉俣 克磨 紘二朗 湾

村山 遥斗 弘憲 赤連

平馬 蒼侑 尚樹 中里

竹下 路琉 昇 赤連

竹田 想良 光 赤連

上嘉鉄 生島 常吉 85才

中里 横山 博通 65才

川嶺 坂田 シゲ 86才

塩道 基井 富山 84才

花良治 初 カツエ 84才

志戸桶 松岡 静 96才

荒木 久保 テル 83才

佐手久 坂元 実子 60才

赤連 榊 キヨ 88才

大朝戸 盛 省三 83才

志戸桶 平田 マツ 95才

中問 伊東 禎文 87才

湾 宮近 正孝 80才

社協だより

■香典返し(敬称略)

佐手久	福島 澄雄
嘉 鈍	大山初津子
坂嶺 春山 勝敏	武彦
川嶺 坂田 武彦	孝志ウメヨ
早 町	横山 初子
中里	生島ウメ子
上嘉鉄	久保 照雄
荒木	松岡 芳
志戸桶	久保 照雄
赤連	榊 孝夫
志戸桶	松岡 芳
川嶺	坂田 シゲ
湾	宮近 清子
湾	川島 豊成

ふるさと寄付者(敬称略)

神奈川 壽 光雄
千葉 加藤 末昭

喜界町の推計人口

(平成21年8月1日現在)

世帯数	3,741戸 (△11)
人口	8,155人 (△23)
男	3,917人 (△12)
女	4,238人 (△11)

()は前月比

編集後記

待ちきれないようにカウント
ダウンの合唱が始まった。弧を
描きながら次第に弱々しくなる
太陽が失われたその刹那、きら
めく閃光に打たれた。

写真の技術がない私は、日食
の写実はあきらめ、周囲の様子
や観測者の表情を撮影する予定
であった。しかし、皆既日食中
の3分余、心奪われ仕事を忘れ
ていたのだ。実際にその時の記
憶はあいまいであり、その時何
を考えていたのか、その3分
余が長かったのか、短かった
のかすらよく分からない。ダイ
ヤモンドリングの映像は、鮮明
にまぶたに焼き付いているの
に・・・。

われわれは大宇宙のほんのカ
ケラに過ぎないこと。そして逆
に、この感動を覚えることで
できる一人ひとりが、この世界の
主役であることも実感した。

さて、今回の一大イベントは
大成功といえるのではないかと

税で創る、あかるい未来
8月末は
町県民税2期分
後期高齢者医療保険料2期分
の納期限です。
納期内に必ず納めましょう。

今月号の11・12ページは
一枚紙となっています。表
紙・裏表紙全面とあわせて、
日食記念のミニポスターと
してもご利用いただけます。
したがって、とじ穴は
開いておりませんのでご了
承ください。

島外からの観測者は「島の人た
ちはみんな温かい」と口を揃え、
何より町民、観測者のすべてが
皆既日食の奇跡に触れることが
できた。準備段階から奔走した
日食実行委員を始め、大盛況
だった塩道、荒木、小野津など
の歓迎イベントの運営者、さら
に道々や商店などで「おもてな
し」の心を持ったシマツチュが
果たした役割も大きい。

あの「黒い太陽」の正体は、
実は太陽を覆い隠した「月」で
ある。その存在は注目されなく
ても、まさしく「月」こそが「世
紀の天体ショー」を演出した
立役者なのだ。

民間人は立入禁止である硫黄
島などを除けば、国内の陸地で
唯一、皆既日食を観測できたこ
とで全世界にアピールできた。
それよりも「月」の役割を果
たした「喜界島」が誇らしい。
この経験は次へとつながってゆ
くだろう。

あるシマツチュの言葉がこの
胸に残る。「この島に生まれて
よかった」
(植村)

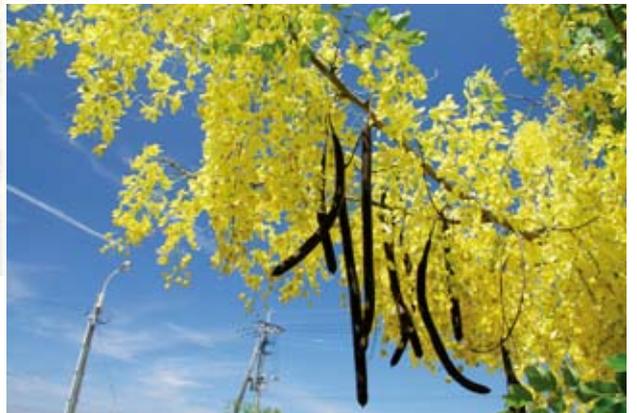
インドから東南アジアが原産でマメ科の高木。島では7～8月にかけて、山吹色（黄金色の別称）の花が重みで枝を湾曲させるほどにシャワーのように咲き誇る。英名のゴールデンシャワーはその様子から名付けられた。高島純也さん宅（早町）にて。

花ことばは「印象的な瞳」「可憐」「清楚」。

ちなみにサイカチ（皂莢）とは、黄緑色の花を付けるジャケツイバラ科の高木で日本固有種。マメ目であるが科はゴールデンシャワーと異なる。カブトムシが樹液を好むことから、サイカチムシとはカブトムシの異名である。夏の季語でもある。



ナンバンサイカチ
（南蛮皂莢、ゴールデンシャワー）

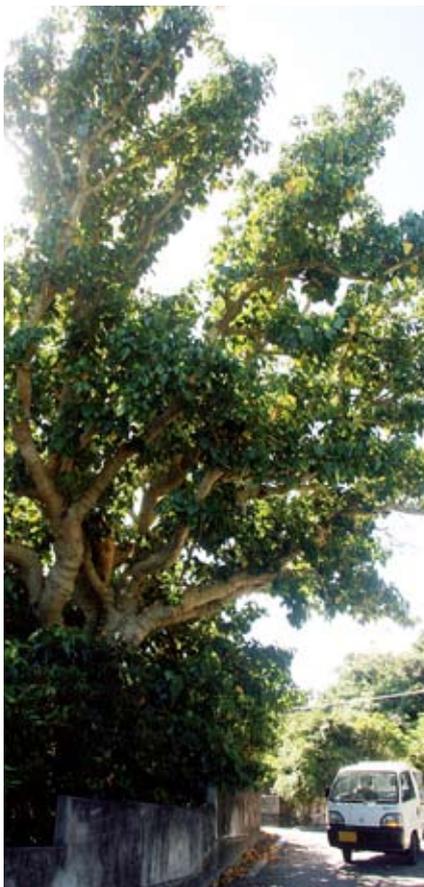


黒く垂れ下がっているのは、種子が詰まったサヤ

ハスノハギリ（蓮葉桐）

西インド諸島が原産でハスノハギリ科の高木。文字通り葉がハスに似ており、木材は桐のように軽いため船の材料として使われた。複数の図鑑などでは沖永良部島が北限で、樹高は10m程度とされるが、志戸桶集落には樹高18m、樹齢200～250年にもなる大木がある。自生したものか、植栽されたものかは不明。海岸近くに自生し、風や潮には強い。

マンガ『ゲゲゲの鬼太郎』に登場する「目玉親父」に似た有毒の実を付けるが、沖縄で発生するヤシガニ中毒の原因は、ヤシガニがこの実をエサとするためとされる。花ことばは不明。



ヒロハネム（広葉合歓）

東南アジア原産でネムノキ科（マメ科の一種）の落葉高木であるネムノキの変種であり、まれに生育するという。ネムノキは東北地方以南に自生するが、本種は熊本の天草諸島以南から奄美大島以北に自生する。ネムノキより葉が幅広いためこの名が付いた。本町の天然記念物である。花ことばは不明。



2009/7/22 in 喜界島

皆既日食

